

■安達憲忠 社会事業開拓者。様々な形で恵まれない状況にある子供たちの救済に努めた。

あだちけんちゅう

蕃書調所・1857＝ 備前国和气郡熊山村(岡山県赤磐郡熊山町佐古部落)の旧家安達熊四郎の次男に生まれ、

桜田門外変・1860＝ 3歳：

薩長同盟・1866＝ 9歳：母与志の急死により寺に預けられ憲忠と改名。

明治維新・1868＝11歳：

明治6年政変 1873＝16歳：

初の民間工場1875＝18歳：

青年期に漢学者西菰山の影響で_自由民権運動に関係し、集会条例違反で入獄。

その後東京で政治運動に関係、

明治14年政変1881＝24歳：

さらに_福島へ転出し、新聞記者をして、瓜生岩を知る。

秩父事件・1884＝27歳：

国民之友始・1887＝30歳：東京府属に就任。

帝国憲法発布1889＝32歳：

足尾鉍毒始・1891＝34歳：*{養育院}幹事になると、院長渋沢栄一の下で、光田健輔らの助言を得て、収容者の処遇改善に努め、幼児掛長には福島にいた瓜生岩を招き、また里親制度を開拓する。

大本教・1892＝35歳：この年、瓜生岩が土方久元夫人と謀って{瓜生会}を組織、

郡司千島探検1893＝36歳：

日清戦争始・1894＝37歳：

八幡製鉄始・1897＝40歳：瓜生岩が死去。

子規句歌革新1898＝41歳：日清戦争後の少年非行の激化に対し、*「窮児悪化の状況」を著わして識者を啓蒙し、

ピノ国産化・1900＝43歳：_虚弱児を転住させて結核死亡を半減させ、本院に感化部を設けたが、

教科書疑獄・1902＝45歳：

弊害を伴うので

日露戦争終・1905＝48歳：_「井の頭学校」に分離し、

伊藤博文暗殺1909＝52歳：_幼児を「巢鴨分院」として、院内結核患者を「板橋分院」としてそれぞれ分離、

大逆事件判決1911＝54歳：

明治天皇没・1912＝55歳：

また杉山鍼按学校の設立を援助して盲児の職業指導に、本願寺無料宿泊所を援助して自由労働者の保護を促進したのも彼の努力によるものである。

ベル仁条約・1919＝62歳：本院拡張のため板橋に敷地買収中、*健康を理由に養育院を辞任後、

大暴落・1920＝63歳：

原敬首相暗殺1921＝64歳：

水平社結成・1922＝65歳：*社会事業についての所信を「貧か富か」に披瀝し、また上官教会専務理事に選ばれ、自由労働者宿泊所を建設した。

世界恐慌・1929＝72歳：

海軍軍縮条約1930＝73歳：_交通事故による衝撃から、脳溢血で、没した。